

調査計画

1 調査の名称

食肉検査等情報還元調査

2 調査の目的

本調査は、と畜場における食用に供するために行う獣畜の処理事業、食鳥処理の事業の実態を把握し、都道府県等を通して、データを家畜生産段階に還元することにより、食肉の安全性を確保するとともに、都道府県等の衛生行政の推進に当たって、全国的な状況等を随時利用できる体制を構築し、円滑な行政推進を図るための基礎資料を得るものである。

3 調査対象の範囲

(1) 地域的範囲 全国

(2) 属性的範囲 都道府県、保健所を設置する市及び特別区

4 報告を求める者

(1) 数 調査年度において都道府県、保健所を設置する市及び特別区である自治体すべて

(2) 選定の方法 (■全数 □無作為抽出 □有意抽出)

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項

と畜場数、と畜場外と殺頭数、と畜場内と殺頭数、処分別実頭数、疾病別頭数、食鳥処理場数、食鳥処理衛生管理者数、届出食肉販売業者数、食鳥検査羽数、処分実羽数、疾病別羽数、化製場及び魚介類鳥類等製造貯蔵施設数、死亡獣畜取扱場畜舎及び家さん舎数、化製場等の数

(2) 基準となる期日又は期間

4月1日～3月31日

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査組織 厚生労働省一都道府県・保健所設置市・特別区

(2) 調査方法 (□調査員調査 □郵送調査 ■オンライン調査 □その他 ())
各都道府県等は、食品保健総合情報処理システムを利用し、食肉検査等情報処理還元システムに予め用意された調査票に基づいて報告することとする。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期 1年

(2) 調査票の提出期限 毎年6月1日から6月30日 (ただし、6月30日が閉庁日の場合は、翌開庁日を提出期限とする。)

8 集計事項

別紙「食肉検査等情報還元調査結果表一覧」のとおり

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表の方法

集計後速やかに厚生労働省ホームページ及び政府統計の総合窓口 (e-Stat) に掲載する。

(2) 公表の期日

毎年10月31日まで (ただし、10月31日が閉庁日の場合は、翌開庁日を公表期日とする。)

10 使用する統計基準

本調査では、調査内容に鑑みて、現在設定されている統計基準を使用する余地が乏しいため、統計調査の範囲や統計の表章に統計基準を使用しない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

(1) 調査票情報の保存期間

- ・記入済み調査票：1年
- ・調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：常用

(2) 保存責任者

厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課長

第1表	と畜場 【設置者・施設規模・都道府県別 - 施設数・許可件数、廃止件数、許可取消件数、使用制限件数】
第2表	と畜場外とさつ頭数 【とさつの種類・獣畜の種類・都道府県別】
第3表の1	と畜場内とさつ頭数 【獣畜の種類・都道府県別】
第3表の2	処分別実頭数 【獣畜の種類・処分・都道府県別】
第3表の3	疾病別頭数 【獣畜の種類・疾病・処分・都道府県別】
第4表	食鳥処理場 【規模・都道府県別 - 施設数、許可件数、休廃止件数、再開件数、処分件数、告発件数】
第5表	食鳥処理衛生管理者数 【規模・資格・都道府県別 - 食鳥処理衛生管理者数】
第6表	届出食肉販売業者数 【都道府県別 - 業者数、届出件数、告発件数】
第7表の1	食鳥検査羽数 【食鳥の種類・都道府県別】
第7表の2	処分実羽数 【食鳥・処分の種類・都道府県別】
第7表の3	疾病別羽数 【食鳥・疾病・処分の種類・都道府県別】
第8表	化製場及び魚介類鳥類等製造貯蔵施設 【都道府県別 - 化製場（皮革、油脂、にかわ、肥料、飼料、その他）の数、魚介類鳥類等製造施設（製造施設、貯蔵施設）数】
第9表	死亡獣畜取扱場数 【都道府県別 - 解体場数、埋却場数、焼却場数】
第10表	畜舎及び家きん舎数 【獣畜, 家きんの種類・都道府県別】
第11表	化製場等 【施設の種類・都道府県別 - 許可件数、廃止件数、処分件数】